

6年生実践から見る 指導と評価

1. 単元名 「明治の新しい国づくり」 ～政策から読み解く移り行く時代～

2. 学校教育目標と社会科（本単元）で目指す子どもの姿

(省略)

3. 単元目標

黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について、人物の働きや代表的な文化遺産に着目し、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することで、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。</p>	<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について考え表現している。</p> <p>②黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化を関連づけたり、総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。</p>	<p>①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

5. 目指す子どもの姿に迫るための授業改善の5つの視点

(1) 教材化 ～「資金」を視点に、強い意志をもって近代化に向かった時代の様子を捉える～

この時代の日本は、欧米列強による支配の恐怖と戦いながら、西洋から学んだことを取り入れ、急いで国内の近代化を進めていたことを理解し表現できるように「資金」という観点をを用いて考えることにしました。「仲間である士族の給料をなくした」という事実から「自分たちの仲間にも関わらず、なぜ給料をなくしたのだろう。」という問題意識をもてるようにしました。反発もありながら政府が諸改革を進めたことを通して、当時の世界情勢と併せて政府の思いを考えたことで、より深く時代の様子を理解することができると考えたからです。このように「資金」という観点に着目することで国民の反発というマイナス面もあったが、国内の近代化を最優先して進めていったというこの時代の様子を理解し表現できるように教材化を図りました。

(2) 学習過程 ～見方・考え方を働かせた学習過程～

単元の導入では、江戸時代と明治時代の高輪の様子絵図から、単元を見通す学習問題を設定し予想することにしました。その予想に「外国とのつながり」「政治の仕組み」「人々の生活」の視点を取り入れて学習計画を立てました。

単元の中盤では、黒船の来航の資料から、「外国とのつながり」「政治の仕組み」の視点に着目して調べ考えることを通して、江戸幕府への不満が高まり、国力増強や新体制構築への機運が高まる中、江戸幕府の支配が終わったことを理解できるようにしました。

単元の後半では、新しい「政治の仕組み」の必要性に着目できるようにしました。新政府の「政治の仕組み」を体現する諸改革を調べ、そのねらいを考えることで、富国強兵に向けて国内の近代化が進められたことを捉えられるようにしました。さらに、政府への反発があったにも関わらず、仲間の給料を無くしてまでも近代化を進めたことを考えることを通して、国内の近代化を進めたこの時代の様子により深く迫れるようにしました。

単元の終末では、「外国とのつながり」と「政治の仕組み」が変化したことによる「人々の生活」の変化を調べました。最後に、3つの視点を通して変化の理由をまとめることで、単元を見通す学習問題を解決できるようにしました。

(3) 学習活動 ～自分で考え、みんなと進む学習活動 GIGA 端末～

一人一人が意見や考えをもって学習に参加できるように、自分で考える時間を確保しました。また、意見を共有する際には、自分の意見と比べて聞き、気付いたことは反応できるように声をかけました。自分の意見を持ち、比べて聞くことを通して、学習を「自分事」として捉えられるような学習活動になると考えました。明治の諸改革は事象に言葉が難しいため、全ての改革を個人で調べるようにすると、学習意欲が続かない児童がうまれると考え、明治政府が行った諸改革をグループで分担して調べ、スライドを使用してまとめる学習活動を設定しました。学習活動の実際には、自分の意見をもちみんなまで進めていける活動になるようにしました。

(4) 指導と評価 ～思考の流れを把握して指導に生かす評価～

問題解決的な学習の流れを大切に授業づくりや指導と評価の一体化を目指して授業に取り組みました。授業中の発言やノートに書かれたまとめと振り返りなどから、子どもの思考の流れを見取り、価値付けたり次時の授業で内容を整理したりしてきました。本単元では江戸時代から明治時代にかけての世の中の変化の理由を考える指導計画を立て、単元を通して評価場面、評価資料、評価の観点を明確にして評価するとともに、子どもの思考の流れを見取って指導するようにしました。特別な支援を要する児童には、教師の助言や友達の意見を参考にして、考えをまとめることができるようにしました。

(5) 一人一人が生きる社会科学習 ～気付きや学びを共有し、高め合える集団づくり～

学習問題をつくる場面では、「え?」「なぜ?」と疑問をもったり、「こんなに〇〇なのか!」と驚きを感じたりできる資料提示を工夫しました。反応やつぶやきを取り上げて「どうしてそう思ったの?」と問い返し、問題意識を焦点化しながら学習問題をつくるようにしました。また、一人一人の気付きや学びを共有するために授業中のつぶやきを全体に問い返したり、振り返りを価値付けて全体で紹介したりしました。つぶやきから始まる問題解決的な学習の充実と、その過程での気付きや学びを共有し、高め合える集団づくりを意識して、教師の出番や役割を考えて、支援や手立てを行うようにしました。

6. 問題解決的な学習の充実にせまる単元構想

単元を見通す学習問題をつくる

明治時代初めの高輪の様子

江戸時代に描かれた高輪の様子

武士がいなくなっている。

汽車が通っている。

橋がレンガ造りになっている。

変化が大きいね。どうしてこんなに変わったのかな。

【単元を見通す学習問題】

①江戸時代から明治時代が変わったことで、なぜこんなに大きな変化がおきたのだろうか。

予想をして学習計画を立てる

②江戸から明治になったことで、なぜこんなに大きな変化がおきたかについて予想をしよう。

調べる視点

外国とのつながり

政治の仕組み

これらが変わること

人々の生活の変化

外国とのつながり・政治の仕組み

ペリーが率いる艦隊と、防備を固める人々

ペリー来航と開国 (動画)

③ペリーが来たことで、日本はどのように変わったのだろうか。

アメリカの使節・ペリー

日米和親条約

世界の植民地化 (1850年代)

日米修好通商条約 (動)

ペリーが来たことで、アメリカの軍勢力を恐れた幕府は条約を結んで開国をし、約200年続いた鎖国の政策が終わった。これによって、日本は西洋文化を取り入れることになった。

政治の仕組み

大政奉還

徳川慶喜

④なぜ江戸幕府はたおれてしまったのだろうか。

幕末の米の値段の推移

打ちこわしの様子

木戸孝允 (長州)

西郷隆盛 (薩摩)

大久保利通 (薩摩)

開国をしたことで人々の生活が苦しくなったり、外国の力を知った武士たちが倒幕の動きを強めたりした。その状況を考えて、徳川慶喜が大政奉還をした。

外国とのつながり・政治の仕組み

木戸孝允 (長州)

西郷隆盛 (薩摩)

大久保利通 (薩摩)

明治天皇

福沢諭吉

五箇条の御誓文

四民平等

廃藩置県

地租改正

徴兵令

学制の発布

岩倉使節団

⑤⑥明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか。(⑤調べる⑥まとめる)

欧米諸国と比べて遅れていることを自覚している明治政府は、欧米の政治制度や文化・産業などを学び、急いで様々な改革を進めた。天皇を中心としながら国内の産業や経済、軍隊を発展させる富国強兵の政策を進め、欧米の国々に追いつき負けない国づくりを目指した。

木戸孝允 (長州)

大久保利通 (薩摩)

西郷隆盛 (薩摩)

士族の給料をなくす政策

木戸たちは元々武士だったよ

武士の給料がなくなったんだ。

⑦明治政府は、なぜ仲間であるはずの士族の給料を全部なくしたのだろうか。

明治政府は、戦うことが仕事ではなくなった士族に対して給料を支払う必要性がなく、また、富国強兵の政策を進めるために資金が必要だったから士族の給料を全部なくした。反乱や一揆もあったけれど、近隣の国がどんどん支配されている状況だったので、とにかく国の力を強くしていく近代化を優先した。

江戸時代と明治時代の高輪の様子

人々の生活の変化

政府が欧米的な文化を積極的に取り入れていたから変わったね。

⑧文明開化によって、人々の暮らしはどのように変わったのだろうか。

明治時代に始まったこと

「明治はじめてモノ語り」

明治政府が西洋文化を取り入れたことで、人々の生活も西洋風になんか変わった。これを文明開化と言う。今の生活につながることもたくさんある。

関連付けたり・総合したりして時代の様子を表現する。

【単元を振り返る学習問題】

⑨江戸時代から明治時代が変わったことで、なぜこんなに大きな変化がおきたのだろうか。

ノート

学習の揭示

鎖国をやめたことで江戸幕府が終わり、明治政府が西洋文化を積極的に取り入れたことで、日本は近代化を進め、外国に負けない国づくりを進めることができた。政治の仕組みやまちなりの様子、人々の暮らしも近代的に変化してきた。

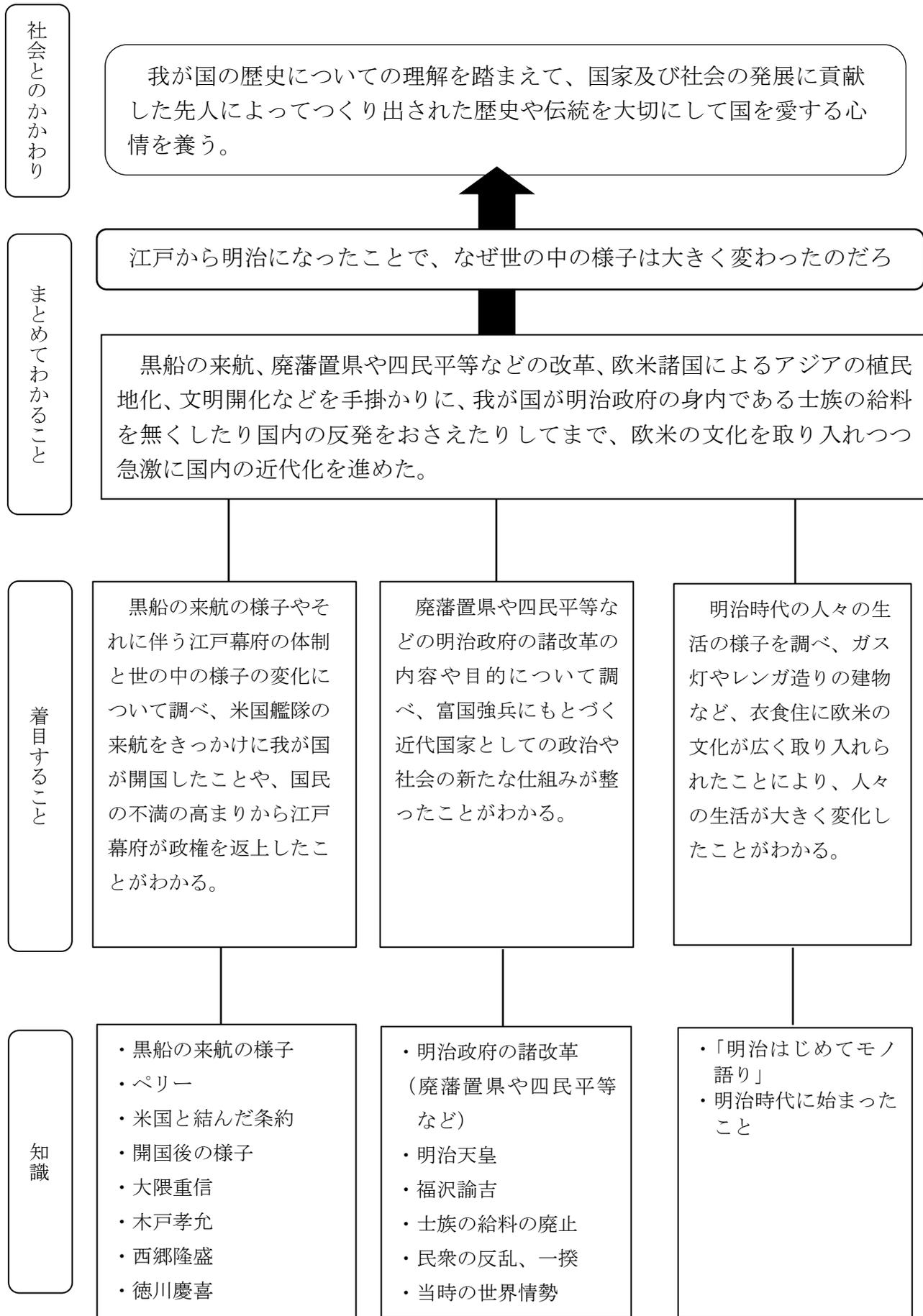
時期や時間の経過に着目・関連付けたり総合したりして時代の様子を表現する

7. 資質・能力の育成に向けた学習評価計画（9時間） ※は評価したことを記録に残す場面

○本時のねらい	○主な学習活動	◇主な資料	評価方法【評価規準】
①江戸時代から明治時代にかけての世の中の様子の变化について話し合うことを通して、学習問題をつくることができるようにする。	○江戸時代から明治時代にかけての世の中の様子の变化について話し合い、学習問題をつくる。	◇江戸時代にえがかれた高輪の様子 ◇明治時代の初めの高輪の様子	発言内容やノートの記述内容から、「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して問いを見出しているか」を評価する。 【思—①】
②学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。	○予想を出し合い学習計画を立てる。	◇江戸時代にえがかれた高輪の様子 ◇明治時代の初めの高輪の様子	発言内容から、「黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態—①】
③アメリカと結んだ2つの条約の内容と世界の植民地化を調べることを通して、黒船の来航により鎖国が終わり、日本が外国との間に不平等条約を結んだことを理解できるようにする。	○ペリーが日本に来た目的、アメリカと結んだ条約、当時の世界の植民地化の様子を調べる。	◇ペリーが率いる艦隊と防備を固める人々 ◇ペリー来航と開国（動画） ◇日米和親条約 ◇世界の植民地化（1850年代） ◇日米修好通商条約（動画）	発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、黒船の来航により鎖国が終わり、日本が外国との間に不平等条約を結んだことを理解しているか」を評価する。 【知—①】
④幕末の米の値段の推移と打ちこわしの様子を調べることを通して、開国によって国内が混乱し、幕府の政治に不満をもった人々が討幕運動を進め、江戸幕府が政権を返上したことを理解している。	○幕末の米の値段の推移と打ちこわしの様子を調べる。 ○倒幕運動を進めた代表的な人物を調べる。	◇幕末の米の値段の推移 ◇打ちこわしの様子 ◇大久保利通 ◇木戸孝允 ◇西郷隆盛 ◇勝海舟 ◇徳川慶喜	発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、開国によって国内が混乱し、幕府の政治に不満をもった人々が討幕運動を進め、江戸幕府が政権を返上したことを理解しているか」を評価する。 【知—①】
⑤⑥明治政府の諸改革の内容と目的を調べることを通して、外国と対等の国づくりを目指した政府の意図について考え、表現できるようにする。	○明治政府の諸改革の内容と目的について調べる。 ※適宜グーグルスライドでまとめる。 (GIGA) ○明治政府の諸改革の意図について考え	◇五箇条の御誓文 ◇廃藩置県 ◇四民平等 ◇地租改正 ◇学制 ◇官営工場 ◇徴兵令 ◇岩倉使節団 ◇明治天皇 ◇大久保利通	ノートやスライドの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、廃藩置県や四民平等などの諸改革の内容や目的を理解しているか」を評価する。 【知—①】 発言内容やノートの記述内容から、「明治政府の諸改革の目的を根

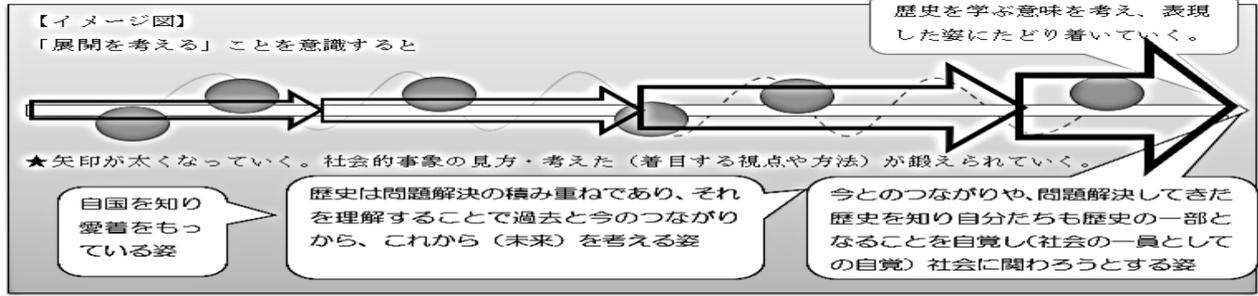
	る。(GIGA)	◇西郷隆盛 ◇木戸孝允 ◇福沢諭吉	拠に、外国と対等の国づくりを目指した政府の意図について考えているか」を評価する。 【思一①】
⑦士族の給料をなくした事実と学習したことを関連付けたり総合したりすることを通して、明治政府が近代化に向けた国づくりを進めていたことを考え、表現できるようにする。	○士族の給料をなくした理由について話し合う。 ○政府の支出状況と既習の諸改革から、士族に充てていた資金の使い道を考える。 ○当時の世界情勢と国内の状況を踏まえて、近代化に向けた改革を進めた理由を話し合う。	◇士族の給料をなくす政策 ◇支出に対する士族の給料が占める割合 ◇明治政府に対する反乱・一揆の一覧	発言内容やノートの記述内容から、「士族の給料に充てていた財源の使い道を諸改革と関連付けて考え、当時の世界情勢と国内の状況を踏まえて話し合うことを通して、当時の日本は近代化に向けた国づくりを進めていたことを考え表現しているか」を評価する。 【思一②】
⑧明治時代に始まったことやものについて調べることを通して、文明開化について理解することができるようにする。	○明治時代に始まったことやものについて調べる。	◇明治時代に始まったこと ◇「明治はじめてモノ語り」	発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、文明開化が起こったことを理解しているか」を評価する。 【知一①】
⑨単元を振り返り、学習問題について話し合うことを通して、日本が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにする。	○学習したことを基に、外国とのつながり、政治の仕組み、人々の生活の様子の変化について話し合う。 ○関係図に整理し、学習問題について話し合い、考えをまとめる。 ・外国とのつながり ・政治の仕組み ・人々の生活の様子	◇これまで活用してきた資料 ◇ノート	関係図の内容から、「学習したことを基に、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの諸改革、文明開化を関連づけたたり、総合したりして、江戸から明治にかけて世の中の様子が変化したことを表現しているか」を評価する。 【思一②】 発言内容やノートの記述内容から、「日本が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解しているか」を評価する。 【知一②】

資料. 「社会のしくみ」と「社会とのかかわり」をつなぐ理解の構造図



ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習

6年部会 研究の重点 「歴史の展開を考える」ことを意識した学習過程



イメージ図での点 ● は歴史の転換期にあたる「その時代の人物や文化遺産」(Ex：鎌倉時代・室町時代など)
矢印⇒は「社会的事象の見方・考え方（時期や時間・位置や空間・事象や人々の相互関係）」

この矢印が「見方・考え方」にあたると考え、さらに前単元の政治学習とも関連させながら、それぞれの単元を構想することで、歴史を俯瞰してみる力、つまり、歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味についても考えられるようになるのではないかと考え実践を積み重ねました。

【6年部会での本単元における視点】

視点① 「歴史の展開を考える」ことを意識した単元構想

本単元は、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに日本が明治維新をきっかけに欧米の文化を取り入れながら近代化を進めてきたことを理解できるようにすることが目標です。

6年部会では、単元を見通す学習問題を設定する場面で、社会的事象の見方・考え方（時期や時間の経過に着目して）を働かせて、なぜ型の学習問題を設定し、子ども達が追究意欲や見通しをもって学習問題を解決ができるようになっていきました。この学習問題を見いだしたり見通しをもったりすることも歴史の展開を考えることの一つであると考えました。さらに、単元中盤～後半では事象や人々の相互関係に着目し明治政府の政策やそれを進めた人物について調べ考えられるようにしました。単元のまとめでは、廃藩置県や四民平等などの諸改革には、「日本を発展させたい」という願いのもと、近代化を進めたことを理解した上で、これまでの学びを根拠にこの時代の様子について語る姿を目指していきました。

視点② ねらいに迫るための学習活動の工夫 ～GIGA 端末の活用～

本単元では5・6時間目に明治政府が行った諸改革を自分で調べまとめたり、グループで分担して調べたりしたものをスライドにまとめる学習活動を設定しました。明治の諸改革は数が多く、内容やその意味を理解するのが難しいのでクラスの実態を考慮しながら、諸改革全てを個人で調べるのではなく、学習意欲が続かない子どものために分担して調べる活動を設定することで、全員が同じ土台に立って学習を進めることができるようにしました。社会科では調べる技能は重要ですが、個人の差も出てきてしまうところがあるので一人一人が生きる社会科学習の助力となるようにしました。

視点③ 社会的事象の見方・考え方を働かせた問題解決的な学習（本時を中心に）

本時では、近代化に向けた明治政府の国づくりを調べ、まとめた後に、秩禄処分という事象に出会うことを通して、これまでの諸改革の意味について、社会的事象の見方・考え方を働かせて考える場面を設定しました。「その当時の人はよりよい国をつくらうと、苦渋の決断をしながらも近代化を推し進めていったんだ。」ということについて考えることも歴史の展開を考え、歴史を学ぶ意味につながっていくと考えました。

